

びわきゅうって何? What's Biwakyu?

温熱効果

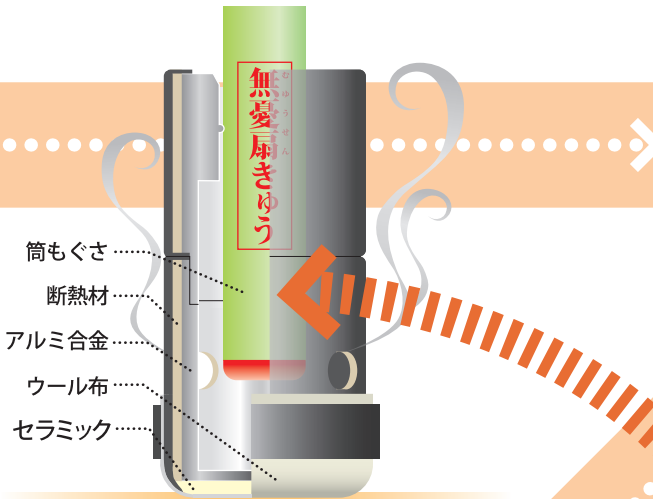
血管拡張作用で
血行促進効果があります。



体温が1℃下がると免疫は約30%下がると言われています。体温維持する事は、免疫力のアップにつながります。



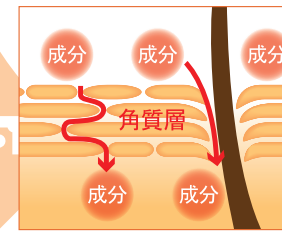
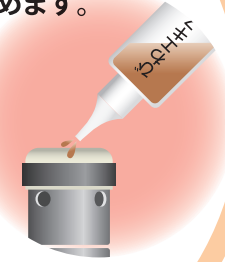
Power Up
カラダもあたためると
パワーUP!!!



びわエキス効果

びわエキスのもつ薬効成分が
自然治癒力を高めます。

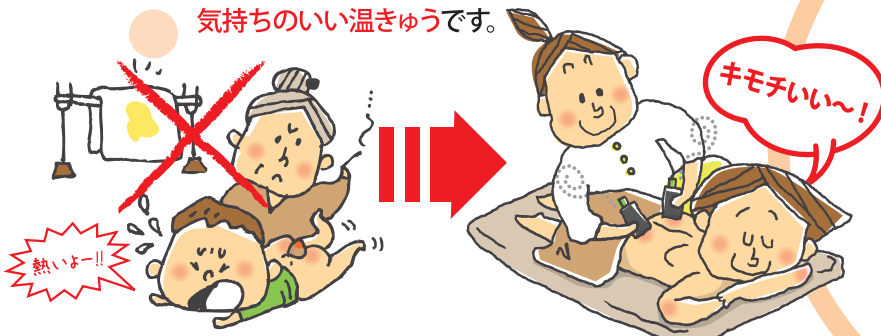
エキスを器具の温められたウール部に浸透させ、温きゅうにより成分を皮膚から吸収、リンパ、毛細血管へと続き、自然治癒力を高めていきます。



びわ葉・種の主な作用は鎮痛・抗炎症作用、抗活性酸素作用があり、このびわ葉と種粉を高濃度アルコールに漬け込み、成分を抽出したものが「びわエキス」です。

「びわきゅう」って熱くありませんか? 熱くありません

器具をもぐさで温め、体の痛むところ、
気になるところにあてる
気持ちのいい温きゅうです。



手当て効果

心をこめて、心と身をほぐし
手当てをさせていただきます。

しっかり身体を温めたら、手技・足技をつかってほぐしていきます。「びわきゅう」独特のこの技術は、心も身体もほぐれ、血行も良くなります。



熱源は「もぐさ」

国産天然「よもぎ」を乾燥させ、葉脈だけを残した上質の「もぐさ」を使用しています。もぐさを燃やした時に出る『煙』や『ヤニ』には素晴らしい効果があり、熱源をもぐさにする事により、あらゆる相乗効果が期待できます。

もぐさの煙には精油成分(シネオール)があり、煙を吸うことで気管支炎のほか、

風邪・インフルエンザなどの病原体の殺菌効果や予防、同時にリラックス効果もあると言われています。



「好転反応」とは、「好」に「転」とあり、つまり体質が良い方向に変わろうとするときの反応です。体に溜まった毒素が出ていて、病気が良くなっている前兆、良く効いている証拠としてみなします。症状は様々ですが、主に倦怠感、眠気、体がかゆくなる、熱が出るなど、びわきゅうをした当日、翌日あるいは数日後に症状が出るケースもあります。



日本では、奈良時代天平2年頃に光明皇后がつくられた救済施設「施薬院」で、びわの葉を用いて多くの病人の人々を救済してきたと言われています。

インドの古い仏典、涅槃経(ねはんぎょう)の中で、びわの葉を、憂い無き扇(むゆうせん)「無憂扇(むゆうせん)」と名付けられたように、古くからびわは人々を救済してきました。

光明皇后が
施薬院で
びわきゅう!?

びわきゅう
豆知識